

豊島美術館

TESHIMA ART MUSEUM

開館およびプレスプレビューのご案内 (Vol.1)

今年7月より、7つの島と高松港周辺を舞台に開催されている「瀬戸内国際芸術祭 2010」。閉幕まで、あと50日を切るところとなりました。当財団では、会期終盤となる10月17日(日)、舞台の一つである豊島(香川県)で、アーティスト・内藤礼と建築家・西沢立衛による「豊島美術館」を新たに公開いたします。

芸術祭の最後を飾るこの美術館は、直島から瀬戸内に展開する一連のプロジェクトの要であり、芸術祭以後にも続く、アート、建築、食、環境、そして地域の方々との協働による地域再生への取り組みの拠点となることを願い、建設されます。

一般公開に先立ち、報道関係者の皆さまを対象に、10月16日(土)にプレスプレビューを行うとともに、西沢立衛氏、内藤礼氏、そして当財団理事長である福武総一郎の3者による記者会見を行います。お繰り合わせの上、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

開催日程

豊島美術館 一般公開開始 2010年10月17日(日) 午前10時より
*開館前に、テープカットおよび豊島の子供たちによる太鼓演奏を行います。

プレスプレビューおよび記者会見 2010年10月16日(土) 午後開催予定
*詳しい日程はリリース Vol.2 でご案内いたします。(今月末頃配信予定)

本資料に関するお問い合わせ

財団法人 直島福武美術館財団 事務局 広報担当：占部、川浦
TEL：087-892-2550 FAX：087-892-4466
www.benesse-artsite.jp/
E-mail：press@fukutake-artmuseum.jp

豊島美術館について

瀬戸内海を望む豊島唐櫃（からと）の小高い丘に建設されるアーティスト・内藤礼と建築家・西沢立衛による「豊島美術館」。休耕田となっていた棚田を地元住民とともに再生させ、その広大な敷地の一角に、一滴の水をイメージした建物が据えられます。広さ40×60m、高さ4.5mの空間に柱が1本もないコンクリート・シェル構造で、天井にある2個所の開口部から、周囲の風、音、光を内部に直接取り込み、自然と建物が呼応する有機的な空間です。内部空間では、一日を通して「泉」が誕生します。その風景は、季節の移り変わりや時間の流れとともに、無限の表情を伝えます。

豊島（香川県小豆郡土庄町）は、瀬戸内海東部にある人口1,043人、面積14.6km²の小島。古くから「唐櫃の清水」と呼ばれる湧水を擁し、かつては稲作をはじめとした農産業や漁業や酪農などが栄え、文字通り自然も食も「豊かな島」でした。しかし、産業構造の変化や過疎・高齢化によって第一次産業は衰退。かつて3,000人を超える島の人口は、現在3分の1までに減少しました。また、1970年代から始まった産業廃棄物の不法投棄は、全国的にも最大規模の産廃問題となりました。

こうした歴史背景をもつ豊島で、当財団は、現代アートによって、かつての美しい自然と、島民の笑顔を取り戻すことを目指し、2007年より豊島におけるプロジェクトを地元の方とともに進めてまいりました。そうした意味において、豊島美術館は、芸術祭開催地の島々の結節点ともいえる豊島の中核的存在であり、このたびの開館が「負の歴史」、「過疎化」の問題を抱える島々における地域再生の出発点となることを願っています。

瀬戸内の地域住民の方々の未来への希望と願いが込められた豊島美術館。美術、建築、環境がひとつとなり、ポジティブなエネルギーとなって、私たちに生きることの喜びを喚起させる場となるでしょう。そして「瀬戸内文化圏」の創造の始まりとなるでしょう。

美術：内藤礼 作品：「母型」2010年

建築：西沢立衛

施設：アートスペース、カフェ&ショップ、チケットセンター

敷地面積：9,800 m²

建築面積：2,400 m²

延床面積：2,400 m²

構造：鉄筋コンクリート（躯体厚25cm）

アーティスト

内藤 礼（ないとう れい）

1961年、広島県生まれ。代表作に「このことを」（2001年、家プロジェクト「きんざ」、直島）、主な展覧会に「地上にひとつの場所を」（1997年、ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館、ヴェネツィア）、「すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している」（2009年、神奈川県立近代美術館、鎌倉）など。

建築家

西沢 立衛（にしざわりゅうえ）

1966年、東京都生まれ。1995年、妹島和世とSANAAを設立後、1997年、西沢立衛建築設計事務所設立。2010年、プリツカー賞受賞。代表作に「森山邸」（2005年、東京）、「十和田市現代美術館」（2008年、青森）など。

ロゴデザイン

祖父江 慎（そぶえ しん）

豊島美術館のロゴデザインを担うのは、地中美術館のロゴを手がけた祖父江慎氏。普遍性のある明朝体のスタイルをベースに、水平方向への広がり、「普遍性、みずみずしさ、女性性、生命力」を感じさせる書体を新たに制作。

豊島美術館 所在地

〒761-4662 香川県小豆郡土庄町豊島唐櫃 607
Tel. : 0879-68-3555 （財団法人 直島福武美術館財団）
Fax. : 0879-68-2182
www.benesse-artsite.jp/teshima-artmuseum